

# 特集

## 大豆の多収阻害要因，ダイズ黒根腐病対策技術の開発 ダイズ栽培におけるダイズ黒根腐病の リスク要因

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構  
中央農業研究センター 北陸研究拠点 水田利用研究領域

秋田県農業試験場

福島県農業総合センター

新潟県農業総合研究所作物研究センター

富山県農林水産総合技術センター農業研究所

長野県農業試験場

長野県農政部

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構  
中央農業研究センター 病害研究領域

あかまつ はじめ やまもと りょう なかやま のりかず  
赤松 創\*1・山本 亮・中山 則和\*2・  
たかはし まみ  
高橋 真実

ふじい なおや さいとう たかあき さやま あきら  
藤井 直哉・齋藤 隆明・佐山 玲・  
まつだ ひでき かとう まさや  
松田 英樹・加藤 雅也\*3

こわだ るい こもり ひでお えんどう おうじ  
古和田 塁\*4・小森 秀雄\*5・遠藤 央士

くろだ ともひさ ふじた よいち はっとり まこと  
黒田 智久\*6・藤田 与一・服部 誠・  
かわかみ おさむ ほり たけし  
川上 修・堀 武志

みむろ げんき もりかわ としゆき あおき ゆみ  
三室 元気・守川 俊幸・青木 由美・  
せきはら じゅんこ  
関原 順子\*7

まんた ひとし なかじま ひろかず うちだ えいじ  
萬田 等\*8・中島 宏和・内田 英史・  
やました とおる とよしま ころう やまだ かずよし  
山下 亨\*9・豊嶋 悟郎\*10・山田 和義

みや はら かおる  
宮 原 薫\*11  
お越 ち すなお  
越 智 直\*12

### はじめに

ダイズ黒根腐病（以下，黒根腐病）は，*Calonectria ilicicola* Boedijn and Reitsma によって引き起こされる土壌伝染性の病害である。本病に罹病したダイズは，主根が褐色～黒色に変色し，側根は腐朽して脱落し易くなり，

Risk Factors of Red Crown Rot Caused by *Calonectria ilicicola* in Soybean Cultivation. By Hajime AKAMATSU, Ryo YAMAMOTO, Norikazu NAKAYAMA, Mami TAKAHASHI, Naoya FUJII, Takaaki SAITO, Akira SAYAMA, Hideki MATSUDA, Masaya KATO, Rui KOWADA, Hideo KOMORI, Ouji ENDO, Tomohisa KURODA, Yoichi FUJITA, Makoto HATTORI, Osamu KAWAKAMI, Takeshi HORI, Genki MIMURO, Toshiyuki MORIKAWA, Yumi AOKI, Junko SEKIHARA, Hitoshi MANTA, Hirokazu NAKAJIMA, Eiji UCHIDA, Toru YAMASHITA, Goro TOYOSHIMA, Kazuyoshi YAMADA, Kaoru MIYAHARA and Sunao OCHI

（キーワード：耕種の防除，水田輪作，対策マニュアル，ダイズ黒根腐病，ダイズ土壌伝染性病害，リスク要因）

\*1 現所属：農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業研究センター 地域戦略部 事業化推進室（野菜花き研究部門安濃野菜研究拠点内）

重症化すると主根のみが残されたゴボウ根と呼ばれる症状を呈する（図-1，根の発病程度3）。地上部では，早期の黄化や落葉が生じる。生育が阻害され，収量構成要素である莢数および子実粒大が減少することにより，収量および品質の低下が引き起こされる（角田ら，1988；西ら，1999；荒井ら，2010；田澤，2013；松田ら，2018；

\*2 現所属：農業・食品産業技術総合研究機構 企画戦略本部 研究推進部

\*3 現所属：秋田県東京事務所

\*4 現所属：福島県南会津農林事務所

\*5 現所属：福島県会津農林事務所

\*6 現所属：新潟県農業総合研究所園芸研究センター

\*7 現所属：富山県農林水産部農業技術課 広域普及指導センター

\*8 現所属：長野県南信農業試験場

\*9 現所属：長野県植物防疫協会

\*10 現所属：長野県野菜花き試験場

\*11 現所属：長野県農業試験場

\*12 現所属：農業・食品産業技術総合研究機構 農業情報研究センター